

HeartCore

ワークフロー機能マニュアル

October 2018 Ver1.2

改訂履歴

	改訂日	改訂内容
初版	2016 年 11 月	新規作成
1.1	2017 年 4 月	専有/解放の説明文言を修正
1.2	2018 年 10 月	刷新

目次

1. 本文書の目的	- 4 -
1.1. 目的	- 4 -
2. 機能概要	- 4 -
2.1. ワークフロー機能とは？	- 4 -
3. ワークフロー機能の有効化	- 4 -
4. ワークフローの下準備	- 4 -
4.1. アクセス制限の設定	- 5 -
5. ワークフローの作成	- 6 -
5.1. 「一時保存」アクション	- 6 -
5.2. 「確認依頼」アクション	- 8 -
5.3. 「公開依頼」アクション	- 10 -
5.4. 「差し戻し」アクション	- 12 -
5.5. 「公開」アクション	- 14 -
6. ワークフローの動作	- 16 -
6.1. 「一時保存」の実行	- 16 -
6.2. 「確認依頼」の実行	- 17 -
6.3. 「公開依頼」「差し戻し」の実行	- 18 -
6.4. 「公開」の実行	- 19 -
7. ワークフローの設定オプション	- 21 -
8. ワークフローに関するその他の機能	- 27 -
8.1. ワンプルワークフローのインポート	- 27 -
8.2. あなたのワークフローアイテム	- 28 -
8.3. コンテンツ一覧からのワークフロー実行	- 29 -
9. 注意事項	- 31 -

1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文書は、HeartCore ワークフロー機能の設定および使用方法を説明しております。

ワークフロー機能を利用するにあたり、本文書を参照することで、該当機能の一通りの操作を行うことができることを目的としております。

2. 機能概要

2.1. ワークフロー機能とは？

ワークフローとは、コンテンツのアクセス制限をより厳格化するための機能で、コンテンツの作成から公開に至るまでの一連のフローをステップ化し、各ステップが誰によってどの順序で行われるべきかを規定することができます。例えば、従業員が作成したコンテンツを、ウェブ担当者が公開する前に、必ずマネージャーの確認と承認を必須としたいケース等が想定されます。

3. ワークフロー機能の有効化

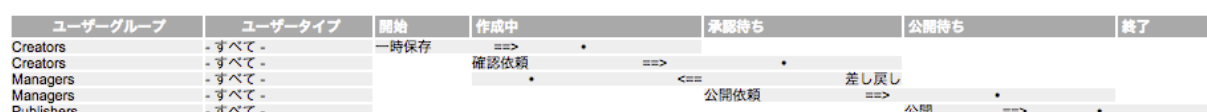
ワークフロー機能を有効化するには、設定＞機能設定＞アクセス制限にて、「ワークフローを有効にします」を選択して保存します。なお、設定セクションを操作するには、HeartCore 管理システムの全体管理者でログインする必要があります。



4. ワークフローの下準備

本書では、一般的な承認プロセスを例に説明していきます。HeartCore のワークフローは、要件に応じて幾通りにも構築いただけるよう柔軟に設計されていますので、一般的なプロセスの構築方法をご理解いただいた上で適宜応用してください。

本書で構築するワークフローの完成形



作成者（Creators）がコンテンツを作成し、確認者（Managers）が承認（もしくは差し戻し）し、承認後に公開者（Publishers）が公開する、という流れです。

4.1. アクセス制限の設定

HeartCore でワークフローを使用するには、予め各ステップの実行者を想定し、コンテンツのアクセス制限を設定しておく必要があります。アクセス制限を設定しないと、誰もがワークフローを回せるため、また誰もがコンテンツを公開できてしまうため、ワークフローを使用する意义がありません。

※アクセス制限の基本的な設定方法とその動作について予めご理解いただいた上で、ワークフローを使用されることを強く推奨します。アクセス制限機能の詳細については、「アクセス制限設定マニュアル」をご参照ください。

本書では、HeartCore におけるワークフローの一般的な構築例として、コンテンツグループのアクセス制限を使用して説明します。

コンテンツグループ「Agroup」のアクセス制限設定

作成者（Creators）には「作成」権限を、確認者（Managers）には「更新」権限を、公開者（Publishers）には「公開」権限を付与しています。

「開発者」と「管理者」権限は誰にも持たせないよう、ユーザの存在しないダミーグループを選択しています。

なお、本書では「アクセスにはグループとタイプ両方のアクセス制限を必要とします」および「自動的にアクセス権限を継承させる」が有効になっている前提で説明します。

- ☒ アクセスにはグループとタイプ両方のアクセス制限を必要とします。
- ☐ アクセスにはグループかタイプどちらかのアクセス制限を必要とします。

- ☐ 自動的にアクセス権限を継承させない。
- ☒ 自動的にアクセス権限を継承させる。
「管理者」は自動的に「閲覧」「更新」「作成」「公開」「開発」の権限も含めて与えられます。
「作成者」は自動的に「閲覧」「更新」の権限も含めて与えられます。
「公開者」は自動的に「閲覧」「更新」の権限も含めて与えられます。
「開発者」は自動的に「閲覧」「更新」の権限も含めて与えられます。
「更新者」は自動的に「閲覧」の権限も含めて与えられます。

5. ワークフローの作成

ワークフローは、1つ1つのステップのまとまりです。HeartCore では、各ステップを「アクション」と呼びます。前章で述べた「本書で構築するワークフローの完成形」を構築するための各アクションの作成方法を説明していきます。

なお、HeartCore では、複雑な要件にも対応できるよう、各アクションに設定可能なオプションが多数用意されています。これらの設定オプションに関する詳細な説明は、第7章に記載しています。

5.1. 「一時保存」アクション

まず、ワークフローの始まりとなる「一時保存」アクションから作成します。

- ① 「設定」>「ワークフロー」を選択し、「新規追加」ボタンをクリックします。



今回は、最初のアクションであるため、「- 空白 -」から作成を行います。次回以降の作成時は、プルダウンから既存のアクションを選択して「新規追加」をクリックし、コピー追加をすることも可能です。

② 作成画面にて、「一時保存」アクションを作成して保存します。

保存

ワークフロー

ワークフロー名

Sample

アクション

一時保存

状態 (～から)

状態 (～へ)

作成中

コンテンツの変更

☐アーカイブ
☐専有
☐解放
☐公開
☐非公開
☐削除
☐スケジュールを削除

アクセス権限

	ユーザ 閲覧	更新者 更新	開発者 更新	作成者 新規追加	公開者 公開	管理者 オーナー権限	スケジュール済 公開	スケジュール済 期限切れ
無効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再度-有効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動での強制的なコンテンツの変更

カスタム エクステンション プログラム

- なし -

アクセス制限

ユーザーグループ

Creators

ユーザータイプ

- すべて(管理者) -

ユーザー制限

前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも

通知メール

選択

コンテンツ

コンテンツクラス

☒ - すべて -
☐ ページ
☐ テンプレート
☐ スタイルシート
☐ スクリプト
☐ イメージ
☐ ファイル
☐ リンク
☐ 商品
☐ banner
☐ breadcrumbs
☐ featurebox1
☐ featurebox2
☐ featurebox3
☐ featurebox4
☐ footer
☐ logo
☐ menu
☐ personal
☐ toolbar
☐ utilities

コンテンツバージョン

☒ - すべて -
☐ Danish

コンテンツグループ

☐ - すべて -
☐ About Us [content]
☒ Agroup [content]
☐ Careers [content]

コンテンツタイプ

☒ - すべて -
☐ Events [content]
☐ Events Admin [content]
☐ Job Search [content]

ここでは、「ワークフロー名」「アクション」「状態（～へ）」「ユーザグループ」「コンテンツグループ」を入力／選択しています。最初のアクションであるため、「状態（～から）」は空白のままにしておきます。

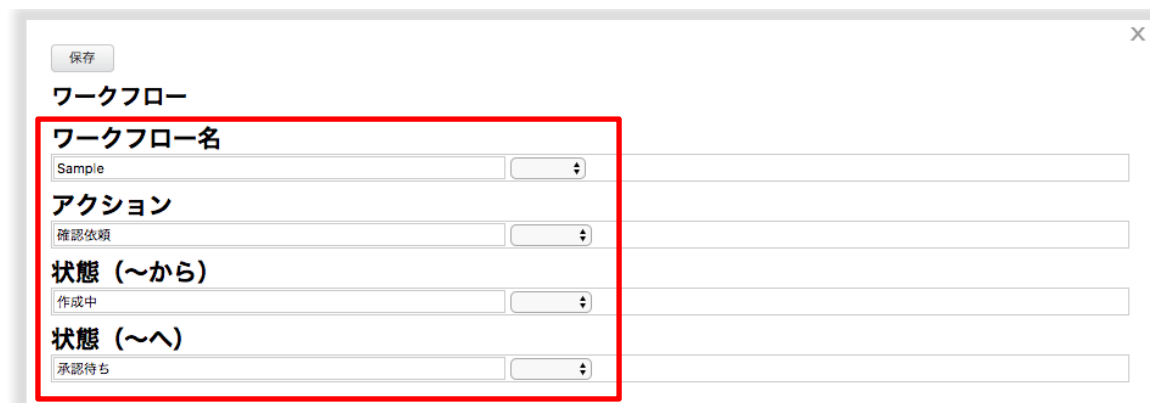
- **ワークフロー名**
本ワークフローの識別名となる任意の名前（ここでは「Sample」）を入力します。
- **アクション**
本ステップの名前となるアクション名（ここでは「一時保存」）を入力します。
- **状態（～へ）**
本アクションが実行された後の状態名（ここでは「作成中」）を入力します。
- **ユーザグループ**
本アクションの実行を許可するユーザグループ（ここでは「Creators」）を選択します。
- **コンテンツグループ**
本アクションを適用するコンテンツグループ（ここでは「Agroup」）を選択します。

- ③ 保存すると、左メニュー「ワークフロー」の下に作成したワークフロー名「Sample」が出現します。選択すると、Sample ワークフローに現在作成されているアクション一覧と、そのフローが表示されます。



5.2. 「確認依頼」アクション

次に、作成者によるコンテンツ作成が完了した後に確認者へ承認を依頼するためのステップとなる「確認依頼」アクションを作成します。



保存

ワークフロー

ワークフロー名
Sample

アクション
確認依頼

状態（～から）
作成中

状態（～へ）
承認待ち

コンテンツの変更

☐アーカイブ
 ☐専有
 ☐解放
 ☐公開
 ☐非公開
 ☐削除
 ☐スケジュールを削除

アクセス権限

	ユーザ 閲覧	更新者 更新	開発者 更新	作成者 新規追加	公開者 公開	管理者 オーナー権限	スケジュール済 公開	スケジュール済 期限切れ
無効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再度有効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動での強制的なコンテンツの変更

カスタム エクステンション プログラム

- なし -

アクセス制限

ユーザーグループ

Creators

ユーザータイプ

- すべて (管理者) -

ユーザー制限

前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも

通知メール

ワークフロー通知

選択

コンテンツ

コンテンツクラス

- ☒ - すべて -
- ☐ ページ
- ☐ テンプレート
- ☐ スタイルシート
- ☐ スクリプト
- ☐ イメージ
- ☐ ファイル
- ☐ リンク
- ☐ 商品
- ☐ banner
- ☐ breadcrumbs
- ☐ featurebox1
- ☐ featurebox2
- ☐ featurebox3
- ☐ featurebox4
- ☐ footer
- ☐ logo
- ☐ menu
- ☐ personal
- ☐ toolbar
- ☐ utilities

コンテンツバージョン

- ☒ - すべて -
- ☐ Danish

コンテンツグループ

- ☐ - すべて -
- ☐ About Us [content]
- ☒ Agroup [content]
- ☐ Careers [content]

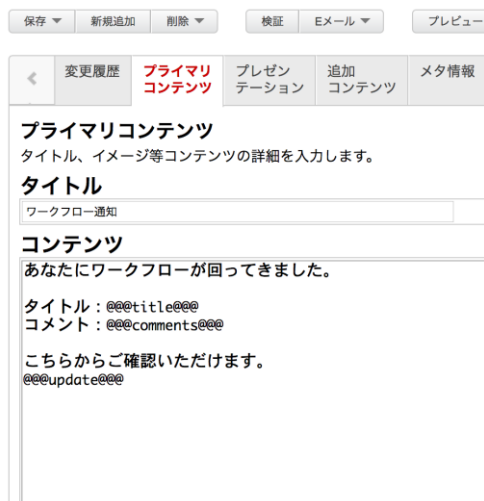
コンテンツタイプ

- ☒ - すべて -
- ☐ Events [content]
- ☐ Events Admin [content]
- ☐ Job Search [content]

ここでは、「ワークフロー名」「アクション」「状態（～から）」「状態（～へ）」「ユーザーグループ」「通知メール」「コンテンツグループ」を入力／選択しています。なお、ワークフロー名や状態名は、右のプルダウンから既存の名前を選択すると便利です。

- ワークフロー名
本ワークフローの識別名となる任意の名前（ここでは「Sample」）を入力します。
- アクション
本ステップの名前となるアクション名（ここでは「確認依頼」）を入力します。
- 状態（～から）
本アクションが実行される前の状態名（ここでは「作成中」）を入力します。
- 状態（～へ）
本アクションが実行された後の状態名（ここでは「承認待ち」）を入力します。
- ユーザグループ
本アクションの実行を許可するユーザグループ（ここでは「Creators」）を選択します。
- 通知メール
本アクションが実行された際に、次のアクション実行権限を持つユーザへ送信する E メールの内容を選択します。ここで選択するコンテンツは予め作成しておく必要があります。（通知メール内で使用可能な@関数は、第 7 章をご参照ください）

例)



保存 ▼ 新規追加 削除 ▼ 検証 Eメール ▼ プレビュー

変更履歴 **プライマリコンテンツ** プレゼンテーション 追加コンテンツ メタ情報

プライマリコンテンツ
タイトル、イメージ等コンテンツの詳細を入力します。

タイトル
ワークフロー通知

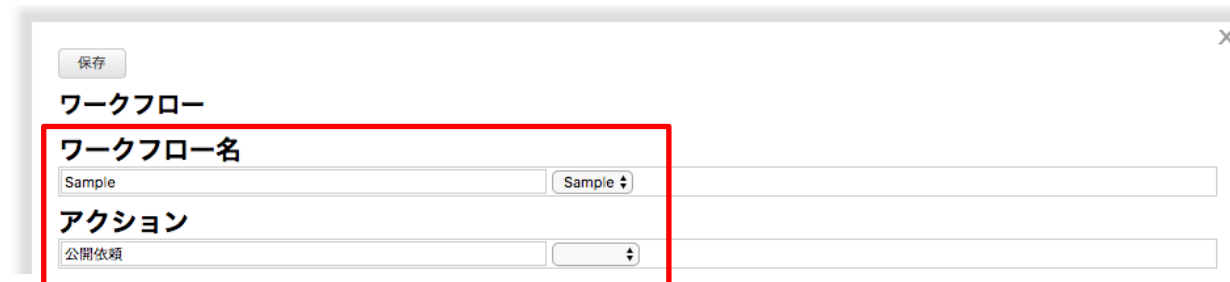
コンテンツ
あなたにワークフローが回ってきました。

タイトル: @@@title@@@
コメント: @@@comments@@@
こちらからご確認いただけます。
@@@update@@@

- コンテンツグループ
本アクションを適用するコンテンツグループ（ここでは「Agroup」）を選択します。

5.3. 「公開依頼」アクション

次に、確認者による承認が OK の場合に、公開者へ公開を依頼するためのステップとなる「公開依頼」アクションを作成します。



保存

ワークフロー

ワークフロー名
Sample Sample ▼

アクション
公開依頼 ▼

状態（～から）

承認待ち

状態（～へ）

公開待ち

コンテンツの変更
☐ アーカイブ ☐ 専有 ☐ 解放 ☐ 公開 ☐ 非公開 ☐ 削除 ☐ スケジュールを削除

アクセス権限

	ユーザ 閲覧	更新者 更新	開発者 更新	作成者 新規追加	公開者 公開	管理者 オーナー権限	スケジュール 公開	スケジュール済 期限切れ
無効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再度-有効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動での強制的なコンテンツの変更**カスタム エクステンション プログラム**

なし

アクセス制限
ユーザーグループ

Managers

ユーザータイプ

すべて(管理者)

ユーザー制限

前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも

通知メール

ワークフロー通知 選択

コンテンツ
コンテンツクラス

- ☒ - すべて -
- ☐ ページ
- ☐ テンプレート
- ☐ スタイルシート
- ☐ スクリプト
- ☐ イメージ
- ☐ ファイル
- ☐ リンク
- ☐ 商品
- ☐ banner
- ☐ breadcrumbs
- ☐ featurebox1
- ☐ featurebox2
- ☐ featurebox3
- ☐ featurebox4
- ☐ footer
- ☐ logo
- ☐ menu
- ☐ personal
- ☐ toolbar
- ☐ utilities

コンテンツバージョン

- ☒ - すべて -
- ☐ Danish

コンテンツグループ

- ☐ - すべて -
- ☐ About Us [content]
- ☒ Agroup [content]
- ☐ Careers [content]

コンテンツタイプ

- ☒ - すべて -
- ☐ Events [content]
- ☐ Events Admin [content]
- ☐ Job Search [content]

ここでは、「ワークフロー名」「アクション」「状態（～から）」「状態（～へ）」「ユーザーグループ」「通知メール」「コンテンツグループ」を入力／選択しています。

- ワークフロー名
本ワークフローの識別名となる任意の名前（ここでは「Sample」）を入力します。
- アクション
本ステップの名前となるアクション名（ここでは「公開依頼」）を入力します。
- 状態（～から）
本アクションが実行される前の状態名（ここでは「承認待ち」）を入力します。
- 状態（～へ）
本アクションが実行された後の状態名（ここでは「公開待ち」）を入力します。
- ユーザグループ
本アクションの実行を許可するユーザグループ（ここでは「Managers」）を選択します。
- 通知メール
本アクションが実行された際に、次のアクション実行権限を持つユーザへ送信する E メールの内容を選択します。ここで選択するコンテンツは予め作成しておく必要があります。
- コンテンツグループ
本アクションを適用するコンテンツグループ（ここでは「Agroup」）を選択します。

5.4. 「差し戻し」アクション

次は、確認者による承認が NG の場合に、作成者へ修正を依頼するためのステップとなる「差し戻し」アクションを作成します。

保存

×

ワークフロー

ワークフロー名

Sample Sample

アクション

差し戻し

状態（～から）

承認待ち 承認待ち

状態（～へ）

作成中

コンテンツの変更

☐アーカイブ
☐専有
☐解放
☐公開
☐非公開
☐削除
☐スケジュールを削除

アクセス権限

	ユーザ 閲覧	更新者 更新	開発者 更新	作成者 新規追加	公開者 公開	管理者 オーナー権限	スケジュール 公開	スケジュール済 期限切れ
無効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再度-有効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動での強制的なコンテンツの変更

カスタム エクステンション プログラム

- なし -

アクセス制限 ユーザーグループ Managers		ユーザータイプ - すべて(管理者) -
ユーザー制限 前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも		
通知メール ワークフロー通知		
コンテンツ コンテンツクラス <input checked="" type="checkbox"/> - すべて - <input type="checkbox"/> ページ <input type="checkbox"/> テンプレート <input type="checkbox"/> スタイルシート <input type="checkbox"/> スクリプト <input type="checkbox"/> イメージ <input type="checkbox"/> ファイル <input type="checkbox"/> リンク <input type="checkbox"/> 商品 <input type="checkbox"/> banner <input type="checkbox"/> breadcrumbs <input type="checkbox"/> featurebox1 <input type="checkbox"/> featurebox2 <input type="checkbox"/> featurebox3 <input type="checkbox"/> featurebox4 <input type="checkbox"/> footer <input type="checkbox"/> logo <input type="checkbox"/> menu <input type="checkbox"/> personal <input type="checkbox"/> toolbar <input type="checkbox"/> utilities		コンテンツバージョン <input checked="" type="checkbox"/> - すべて - <input type="checkbox"/> Danish
コンテンツグループ <input type="checkbox"/> - すべて - <input type="checkbox"/> About Us [content] <input checked="" type="checkbox"/> Agroup [content] <input type="checkbox"/> Careers [content]		コンテンツタイプ <input checked="" type="checkbox"/> - すべて - <input type="checkbox"/> Events [content] <input type="checkbox"/> Events Admin [content] <input type="checkbox"/> Job Search [content]

ここでは、「ワークフロー名」「アクション」「状態（～から）」「状態（～へ）」「ユーザグループ」「通知メール」「コンテンツグループ」を入力／選択しています。

- **ワークフロー名**
本ワークフローの識別名となる任意の名前（ここでは「Sample」）を入力します。
- **アクション**
本ステップの名前となるアクション名（ここでは「差し戻し」）を入力します。
- **状態（～から）**
本アクションが実行される前の状態名（ここでは「承認待ち」）を入力します。
- **状態（～へ）**
本アクションが実行された後の状態名（ここでは「作成中」）を入力します。
- **ユーザグループ**
本アクションの実行を許可するユーザグループ（ここでは「Managers」）を選択します。
- **通知メール**
本アクションが実行された際に、次のアクション実行権限を持つユーザへ送信する E メールの内容を選択します。ここで選択するコンテンツは予め作成しておく必要があります。
- **コンテンツグループ**

本アクションを適用するコンテンツグループ（ここでは「Agroup」）を選択します。

5.5. 「公開」アクション

最後に、公開者がコンテンツを公開するためのステップとなる「公開」アクションを作成します。

保存

×

ワークフロー

ワークフロー名

Sample

Sample

アクション

公開

状態（～から）

公開待ち

状態（～へ）

コンテンツの変更

☐アーカイブ
☐専有
☐解放
☒公開
☐非公開
☐削除
☐スケジュールを削除

アクセス権限

	ユーザ 閲覧	更新者 更新	開発者 更新	作成者 新規追加	公開者 公開	管理者 オーナー権限	スケジュール 公開	スケジュール済 スケジュール 期限切れ
無効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再度-有効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動での強制的なコンテンツの変更

PUBLISH

カスタム エクステンション プログラム

- なし -

アクセス制限

ユーザーグループ

Publishers

ユーザータイプ

- すべて(管理者) -

ユーザー制限

前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも

通知メール

- なし -

選択

コンテンツ

コンテンツクラス

☒ - すべて -
☐ ページ
☐ テンプレート
☐ スタイルシート
☐ スクリプト
☐ イメージ
☐ ファイル
☐ リンク
☐ 商品
☐ banner
☐ breadcrumbs

コンテンツバージョン

☒ - すべて -
☐ Danish

☐ featurebox4
☐ footer
☐ logo
☐ menu
☐ personal
☐ toolbar
☐ utilities

コンテンツグループ
☐ - すべて -
☐ About Us [content]
☒ Agroup [content]
☐ Careers [content]

コンテンツタイプ
☒ - すべて -
☐ Events [content]
☐ Events Admin [content]
☐ Job Search [content]

ここでは、「ワークフロー名」「アクション」「状態（～から）」「コンテンツの変更」「ユーザグループ」「コンテンツグループ」を入力／選択しています。最後のアクションとなるため、「状態（～へ）」は空白のままにしておきます。

- ワークフロー名
本ワークフローの識別名となる任意の名前（ここでは「Sample」）を入力します。
- アクション
本ステップの名前となるアクション名（ここでは「公開」）を入力します。
- 状態（～から）
本アクションが実行される前の状態名（ここでは「公開待ち」）を入力します。
- コンテンツの変更「公開」
本アクションが実行された際に自動でコンテンツが公開されるよう、「公開」にチェックを入れます。公開漏れを防ぐ目的で使します。
- ユーザグループ
本アクションの実行を許可するユーザグループ（ここでは「Publishers」）を選択します。
- コンテンツグループ
本アクションを適用するコンテンツグループ（ここでは「Agroup」）を選択します。

これで、Sample ワークフローが完成しました。

[トップ](#)
[開発 & 編集](#)
[ワークフロー](#)

次のユーザでログインされています: admin | [ログアウト](#) | [ヘルプ](#) | [三](#)

[HeartCore CMS](#)
[ワークスペース](#)
[階層構造](#)
[コンテンツ](#)
[メディア](#)
[Eコマース](#)
[データベース](#)
[ユーザ](#)
[解析](#)
[設定](#)

設定
 システム
 機能設定
 コンテンツ
 イメージ
 ファイル
 バージョン
 ユーザ
 ワークフロー
Sample
 Eコマース
 データベース
 パッケージ
 Data-to-Page Import
 Facebook投稿
 HTML-Lint設定
 メルマガグループ管理

新規追加 - 空白 -

ワークフロー名	アクション	状態（～から）	状態（～へ）			
Sample	一時保存		作成中	詳細表示	更新	削除
Sample	公開	公開待ち		詳細表示	更新	削除
Sample	公開依頼	承認待ち	公開待ち	詳細表示	更新	削除
Sample	差し戻し	承認待ち	作成中	詳細表示	更新	削除
Sample	確認依頼	作成中	承認待ち	詳細表示	更新	削除

ユーザグループ	ユーザタイプ	開始	作成中	承認待ち	公開待ち	終了
Creators	- すべて -	一時保存				
Creators	- すべて -		確認依頼			
Managers	- すべて -				差し戻し	
Managers	- すべて -			公開依頼		
Publishers	- すべて -				公開	

6. ワークフローの動作

構築したワークフローの実際の動きを見ていきます。

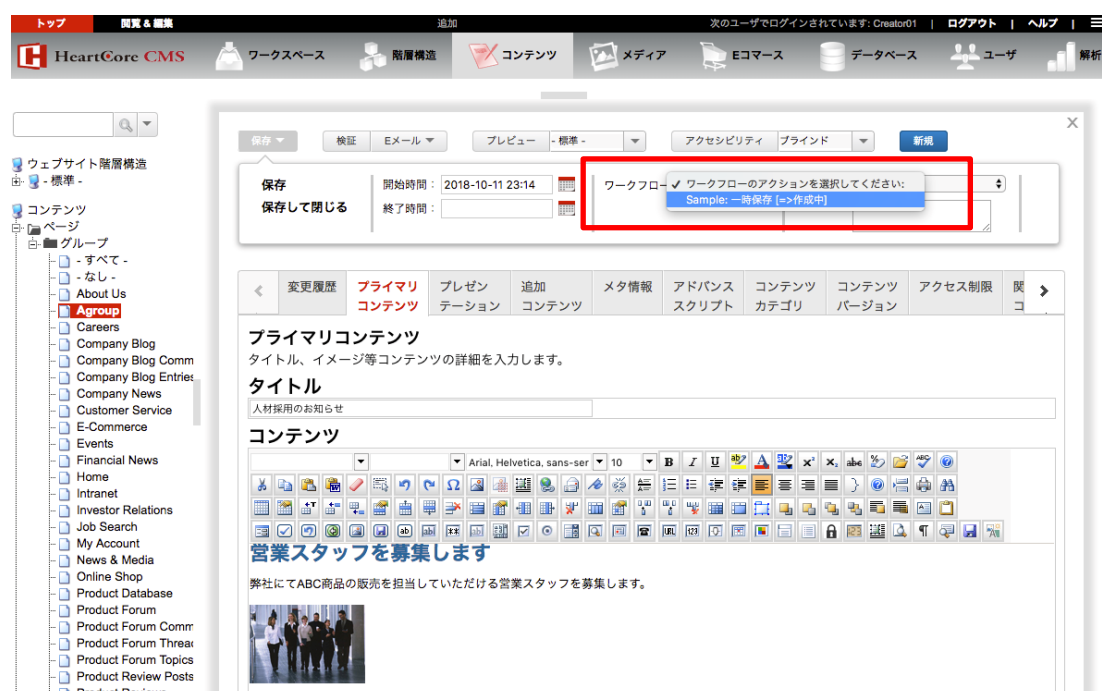
6.1. 「一時保存」の実行

- ① 作成者（「Creators」ユーザグループに属する管理者ユーザ）にてログインし、ワークフローが適用されているコンテンツグループ「Agroup」を選択し、新規追加ボタンをクリックしてコンテンツ作成画面を開きます。



なお、本書の例では、アクセス制限設定の「アクセス権限のあるコンテンツグループ・タイプへの新規（空白）コンテンツの追加を無効にする」が選択されているため、既存コンテンツをコピーして新規コンテンツを作成します。「有効にする」が選択されている場合は、新規追加ボタン横のプルダウンに「- 空白 -」オプションが表示され、スクラッチから作成することも可能となります。

- ② コンテンツ作成画面の「ワークフロー」プルダウンに、ログイン中のユーザが現在実行可能なアクション「一時保存」が表示されます。コンテンツを保存したいタイミングで、アクションを選択して保存します。



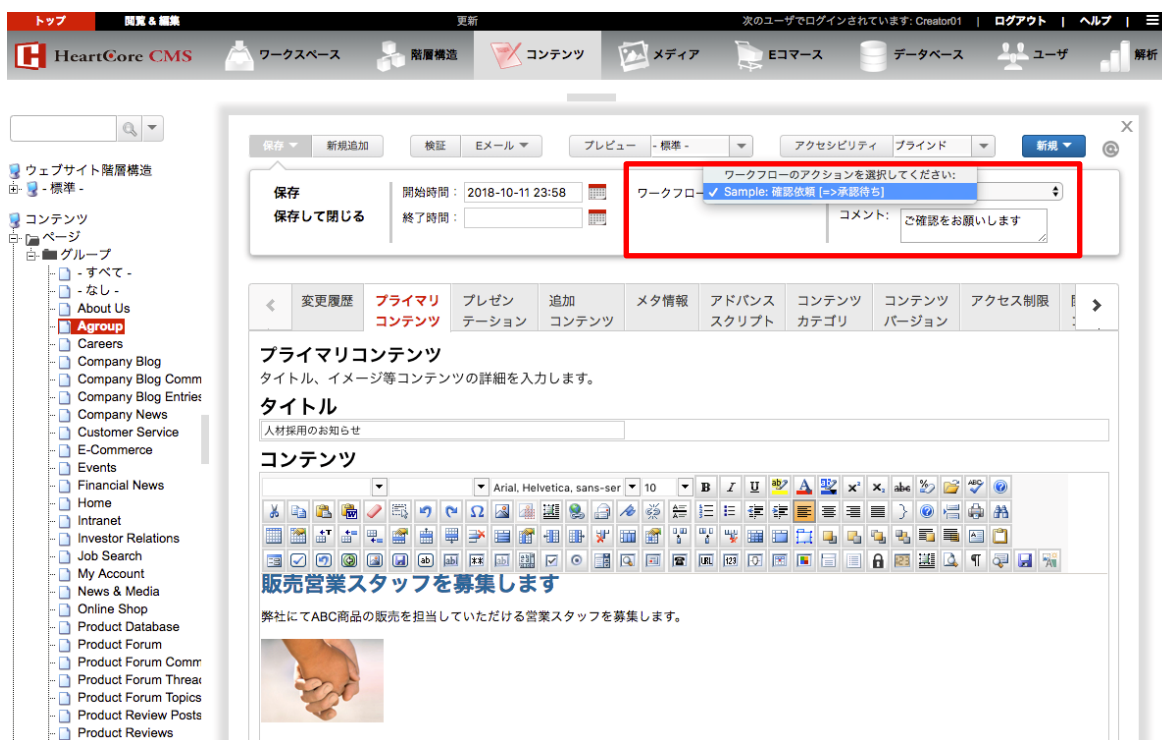
- ③ 保存後一覧画面に戻ると、コンテンツのステータスが「作成中」になっていることが確認できます。これでワークフローが開始されました。



現在このコンテンツは「Sample」ワークフローの「作成中」ステータスにあるため、次の「確認依頼」アクションを実行する権限を持つユーザ（「Creators」に属するユーザ）以外、いかなる変更も施すことはできません。

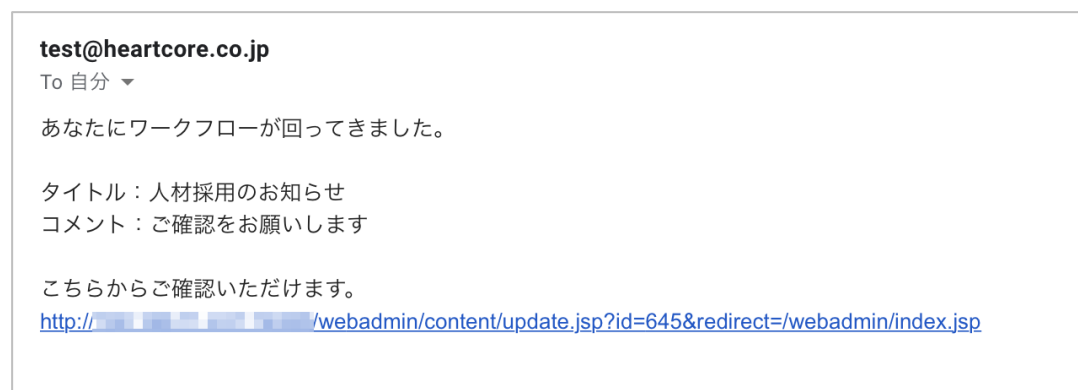
6.2. 「確認依頼」の実行

- ① 作成者（「Creators」ユーザグループに属する管理者ユーザ）にてログインし、「作成中」ステータスにあるコンテンツを開きます。「ワークフロー」プルダウンに、ログイン中のユーザが現在実行可能なアクション「確認依頼」が表示されます。コンテンツの作成が完了したら、アクションを選択して保存します。



本アクションには「通知メール」も設定されているため、「コメント」にて次のアクション実行者である確認者（Managers）へ伝えたいコメントを入力すると、コンテンツ保存時に送信さ

れる通知メール内に表示されます。



- ② 保存後一覧画面に戻ると、コンテンツのステータスが「承認待ち」になりました。



現在このコンテンツは「Sample」ワークフローの「承認待ち」ステータスにあるため、次の「公開依頼」または「差し戻し」アクションを実行する権限を持つユーザ（「Managers」に属するユーザ）以外、いかなる変更も施すことはできません。

6.3. 「公開依頼」「差し戻し」の実行

- ① 確認者（「Managers」ユーザグループに属する管理者ユーザ）にてログインし、「承認待ち」ステータスにあるコンテンツを開きます。「ワークフロー」プルダウンに、ログイン中のユーザが現在実行可能なアクション「公開依頼」と「差し戻し」が表示されます。承認 OK の場合は「公開依頼」を、承認 NG の場合は「差し戻し」を選択して保存します。



本アクションにも「通知メール」が設定されているため、「コメント」にて次のアクション実行者である公開者（Publishers）または作成者（Creators）へ伝えたいコメントを入力すると、コンテンツ保存時に送信される通知メール内に表示されます。

- ② 「公開依頼」を選択して保存後一覧画面に戻ると、コンテンツのステータスが「公開待ち」になりました。



現在このコンテンツは「Sample」ワークフローの「公開待ち」ステータスにあるため、次の「公開」アクションを実行する権限を持つユーザ（「Publishers」に属するユーザ）以外、いかなる変更も施すことはできません。

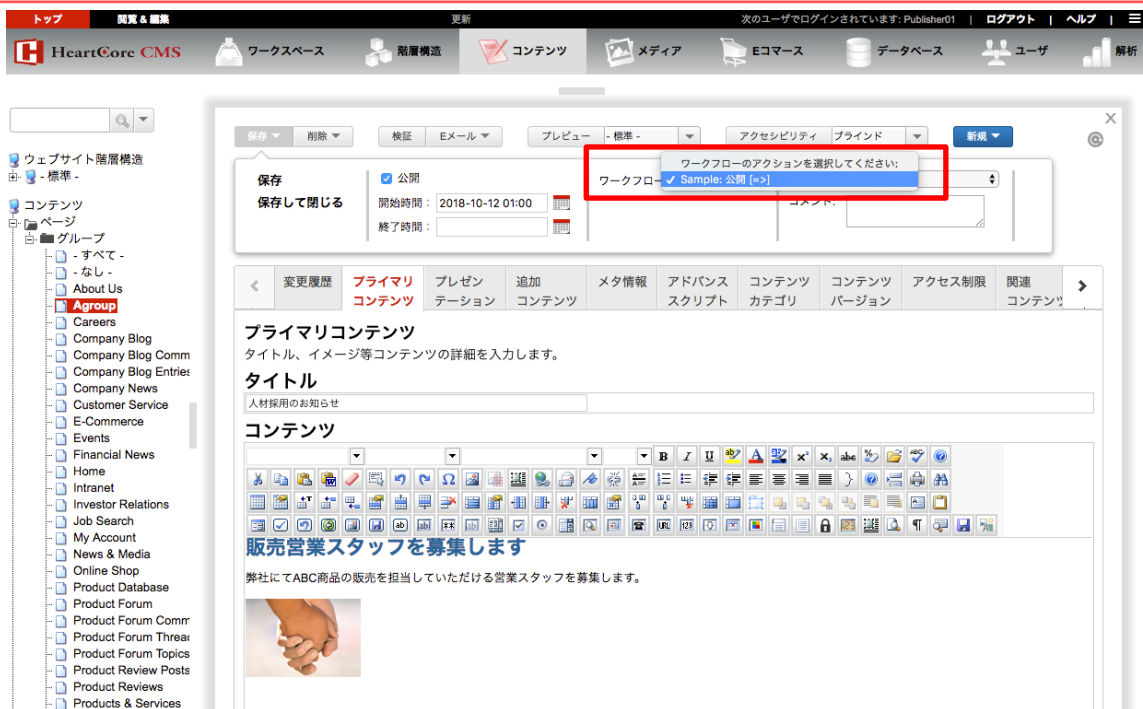
- ② 「差し戻し」を選択して保存後一覧画面に戻ると、コンテンツのステータスが「作成中」に戻りました。



現在このコンテンツは「Sample」ワークフローの「作成中」ステータスにあるため、次の「確認依頼」アクションを実行する権限を持つユーザ（「Creators」に属するユーザ）以外、いかなる変更も施すことはできません。

6.4. 「公開」の実行

- ① 公開者（「Publishers」ユーザグループに属する管理者ユーザ）にてログインし、「公開待ち」ステータスにあるコンテンツを開きます。「ワークフロー」プルダウンに、ログイン中のユーザが現在実行可能なアクション「公開」が表示されます。公開したいタイミングで、アクションを選択して保存します。



保存 削除 検証 Eメール プレビュー 標準 アクセシビリティ ブラインド 新規

保存 保存して閉じる 公開 開始時間: 2018-10-12 01:00 終了時間:

ワークフローのアクションを選択してください:
ワークフロー: **Sample: 公開** [v]

変更履歴 プライマリ コンテンツ プレゼンテーション 追加 コンテンツ メタ情報 アドバンス スクリプト コンテンツ カテゴリ コンテンツ バージョン アクセス制限 関連 コンテンツ

プライマリコンテンツ
タイトル、イメージ等コンテンツの詳細を入力します。

タイトル
人材採用のお知らせ

コンテンツ

販売営業スタッフを募集します
弊社にてABC商品の販売を担当していただける営業スタッフを募集します。

本アクションには、「コンテンツの変更：公開」が設定されているため、もし公開者が「公開」チェックボックスにチェックを入れ忘れて保存した場合でも、コンテンツは強制的に公開されます。

- ② 保存後一覧画面に戻ると、コンテンツが公開されていることが確認できます。



トップ 閲覧 & 編集 ページ 次のユーザでログインされています: Publisher01 ログアウト ヘルプ 三

HeartCore CMS ワークスペース 階層構造 コンテンツ メディア Eコマース データベース ユーザ 解析

クラス: page x グループ: Agroup x

デフォルト表示 + すべてのリスト リスト 新規追加

表示中: 1-2 全: 2 ページ: << 最初へ < 前へ < 1 < 次へ > 最後へ >>

グループ	タイプ	バージョン	デバイス	ページ	ID	プレビュー	ステータス
<input type="checkbox"/> Agroup				ページテンプレート	644		
<input type="checkbox"/> Agroup				人材採用のお知らせ	645		公開済: 2018-10-12 01:02:17

全て選択 全て選択解除 選択公開 移動 コピー 選択削除 共有 解放 リンクチェック タグ検証 アクセシビリティチェック

これでワークフローが完結しました。

7. ワークフローの設定オプション

ワークフローで使用可能な各設定オプションについて説明します。

① ワークフロー

ワークフロー	
ワークフロー名	<input type="text"/>
アクション	<input type="text"/>
状態(～から)	<input type="text"/>
状態(～へ)	<input type="text"/>

- ワークフロー名：ワークフロー名を入力します。
- アクション：アクション名を入力します。
ワークフローはアクションのまとまりです。アクションが積み重なることにより1つのワークフローとして形成されます。
- 状態(～から)：前の担当者やワークフローの状態を入力します。
- 状態(～へ)：次の担当者やワークフローの状態を入力します。

※一度保存を行うと右側のプルダウンに表示されるようになります。

② コンテンツの変更：ワークフローアクションを実行したコンテンツに対して自動で変更を行います。

コンテンツの変更	
<input type="checkbox"/> アーカイブ	<input type="checkbox"/> 専有 <input type="checkbox"/> 解放 <input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 削除 <input type="checkbox"/> スケジュールを削除

アーカイブ：コンテンツのアーカイブを取得します。
専有：コンテンツを専有（チェックアウト）します。
解放：コンテンツを解放（チェックイン）します。
公開：コンテンツを公開します。
※公開権限を持つユーザによるアクション実行時のみ。（公開権限が無いユーザの場合は、スーパーユーザヘメールが送信される。）
非公開：コンテンツを非公開します。
削除：コンテンツを削除します。
スケジュールを削除：コンテンツのスケジュールを削除します。

③ アクセス権限：ワークフローアクションを実行したコンテンツのアクセス権限を設定します。

アクセス権限								
	ユーザ 閲覧	更新者 更新	開発者 更新	作成者 新規追加	公開者 公開	管理者 オーナー権 限	スケジュー ル済 公開	スケジュー ル済 期限切れ
無効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再度-有効	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「ユーザ閲覧」の無効：

「閲覧権限」ユーザによるコンテンツの閲覧を無効にします。

※「プレビュー」「詳細表示」を無効にします。

「ユーザ閲覧」の再度有効：

「閲覧権限」ユーザによるコンテンツの閲覧を有効にします。

※「プレビュー」「詳細表示」を有効にします。

「更新者更新」の無効：

「更新権限」ユーザによるコンテンツの更新を無効にします。

「更新者更新」の再度有効：

「更新権限」ユーザによるコンテンツの更新権限を有効にします。

「開発者更新」の無効：

「開発者権限」ユーザによるコンテンツの更新を無効にします。

「開発者更新」の再度有効：

「開発者権限」ユーザによるコンテンツの更新を有効にします。

「作成者新規追加」の無効：

「作成者権限」ユーザによるコンテンツの作成を無効にします。

「作成者新規追加」の再度有効：

「作成者権限」ユーザによるコンテンツの作成を有効にします。

「公開者公開」の無効：

「公開者権限」ユーザによるコンテンツの公開を無効にします。

「公開者公開」の再度有効：

「公開者権限」ユーザによるコンテンツの公開を有効にします。

「管理者オーナー権限」の無効：

「管理者権限」ユーザに対しコンテンツの管理者権限を無効にします。

「管理者オーナー権限」の再度有効：

「管理者権限」ユーザに対しコンテンツの管理者権限を有効にします。

「スケジュール済公開」の無効：

コンテンツの「スケジュール公開」を無効にします。

「スケジュール済公開」を再度有効：

コンテンツの「スケジュール公開」を有効にします。

「スケジュール済期限切れ」の無効：

コンテンツの「スケジュール済期限切れ」を無効にします。

「スケジュール済期限切れ」を再度有効：
コンテンツの「スケジュール済期限切れ」を有効にします。

※ コンテンツのアクセス権限を有効に設定したワークフローアクションが実行されるとコンテンツのアクセス権限は有効状態になります。コンテンツのアクセス権限を無効するにはアクセス権限を無効にするワークフローアクションを必ず実行して下さい。ワークフローでアクセス権限を無効にするワークフローアクションを実行しない限りアクセス権限は無効とはなりません。

※ スケジュール済公開とスケジュール済期限切れのアクセス権限を有効とした場合、全体管理者もスケジュールの再設定が実行不可となりますのでアクセス権限を無効とするワークフローアクションを必ず実行して下さい。

例えば、

・「スケジュール済公開」を無効とするワークフローを実行した場合は「スケジュール済公開」を有効とするワークフローアクションを実行しないと、スケジュール済公開は無効のままとなります。

・「公開者公開」を無効とするワークフローを実行した場合、「公開者公開」を有効とするワークフローアクションを実行しないと、公開は無効のままとなります。
この時に全体管理者からコンテンツを公開する事はできますが、ワークフローアクションで実行された「公開者公開」の無効のアクセス権限は変更する事ができません。

～全体管理者からワークフロー「-終わり-」を選択し、操作可能な項目は次の通りです～
(ただし権限は保持されたままとなります)

ユーザ閲覧
更新者更新
開発者更新
作成者新規追加
公開者公開
管理者オーナー権限

～ワークフローアクションの「有効」を実行しないと操作できない項目～

スケジュール済公開
スケジュール済み期限切れ

これらはワークフローで無効となったアクセス権限を有効とするワークフローアクションを実行する事で回避する事が可能となっております。

- ④ 自動での強制的なコンテンツ変更：ワークフローアクションを実行したコンテンツに対して、イレギュラーな変更を強制的に行います。

自動での強制的なコンテンツの変更

使用可能なコマンド

users_group=アクセス制限[閲覧]のユーザグループを強制的に変更します。
creators_group=アクセス制限[作成]のユーザグループを強制的に変更します。
editors_group=アクセス制限[更新]のユーザグループを強制的に変更します。
publishers_group=アクセス制限[公開]のユーザグループを強制的に変更します。
developers_group=アクセス制限[開発]のユーザグループを強制的に変更します。
administrators_group=アクセス制限[管理者]のユーザグループを強制的に変更します。
users_type=アクセス制限[閲覧]のユーザタイプを強制的に変更します。
creators_type=アクセス制限[作成]のユーザタイプを強制的に変更します。
editors_type=アクセス制限[更新]のユーザタイプを強制的に変更します。
publishers_type=アクセス制限[公開]のユーザタイプを強制的に変更します。
developers_type=アクセス制限[開発]のユーザタイプを強制的に変更します。
administrators_type=アクセス制限[管理者]のユーザタイプを強制的に変更します。
contentgroup=ページの所属するコンテンツグループを強制的に移動します。
PUBLISH アクションが実行された際、強制的にコンテンツを公開します。
UNPUBLISH アクションが実行された際、強制的にコンテンツを公開しません。

コマンド記述例

自動での強制的なコンテンツの変更

```
contentgroup=groupA  
contenttype=typeA
```

コンテンツグループ「groupA」、コンテンツタイプ「typeA」へコンテンツを変更する場合の記述例となります。

- ⑤ カスタムエクステンションプログラム：ワークフローアクションを実行したコンテンツに対して、独自のエクステンションプログラムを実行します。

カスタム エクステンション プログラム

- なし -

エクステンションプログラムは「ROOT/webadmin/workflowaction」直下へ配置する事でプルダウンメニューにて選択可能となります。

⑥ アクセス制限：ワークフローアクションを実行できるユーザを制限します。

アクセス制限

ユーザーグループ

- すべて(管理者) -

ユーザータイプ

- すべて(管理者) -

ユーザー制限

前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも

- ユーザグループ：ワークフローアクションの実行を許可するユーザグループを指定します。
- ユーザタイプ：ワークフローアクションの実行を許可するユーザタイプを指定します。
- ユーザ制限：ワークフローアクションの実行を許可するユーザを更に絞ることが可能です。
 - ・ 前のワークフローのステップに関わらずどの作業者でも：

前のワークフローアクションを実行したユーザに関わらず、アクセス制限を満たしていればどのユーザでもワークフローアクションを実行可能にします。
 - ・ 前のワークフローのステップの作業者とは別の作業者：

前のワークフローアクションを実行したユーザは、このアクションを実行できないようにします。
 - ・ 前のワークフローのステップの作業者と同じ作業者

前のワークフローアクションを実行したユーザと同一のユーザしかこのアクションを実行できないようにします。

⑦ 通知メール：このアクションが実行された際に、次のアクション実行者へ送信する通知メールを設定します。

通知メール

通知メールは、通常のページコンテンツとして予め作成しておきます。通知メールに設定したコンテンツ内に下記の@@@関数を記述する事で、様々な情報を通知メール内へ挿入する事が可能です。

関数	説明
@@@id@@@	コンテンツの「ID」を挿入する場所を定義します。
@@@title@@@	コンテンツの「タイトル」を挿入する場所を定義します。

@@@comments@@@	コンテンツ編集画面上の「コメント」欄へ記載した内容を挿入する場所を定義します。 ※入力されたコメントは HeartCore コンテンツ内には保存、又は保持されません。通知メールにて表示されるだけです。
@@@name@@@	アクション実行ユーザの「ユーザの詳細」タブに登録されている「名前」を挿入する場所を定義します。
@@@username@@@	アクション実行ユーザの「ユーザログイン」タブに登録されている「ユーザ名」を挿入する場所を定義します。
@@@content@@@	コンテンツの「コンテンツ」を挿入する場所を定義します。
@@@summary@@@	コンテンツの「サマリー」を挿入する場所を定義します。
@@@revision@@@	コンテンツ編集画面の「変更履歴」タブにある、「変更」項目へ記述した内容を挿入する場所を定義します。
@@@class@@@	コンテンツの「クラス」を挿入する場所を定義します。 例：コンテンツがページコンテンツの場合「page」と表示されます。
@@@preview@@@	コンテンツをプレビューする「URL」を挿入する場所を定義します。
@@@view@@@	コンテンツを詳細表示する「URL」を挿入する場所を定義します。
@@@update@@@	コンテンツを更新や公開を行う「URL」を挿入する場所を定義します。
@@@delete@@@	コンテンツの削除処理を行う「URL」を挿入する場所を定義します。

※ワークフローのメール送信先ユーザは次の設定を判断して送信されます。

- ・ワークフロー設定の「状態（～へ）」
- ・コンテンツグループで設定されている「アクセス制限」

また、「閲覧」「更新」「作成」「公開」「管理者」「開発者」の項目に優先順位は存在しません。ユーザが上記の任意グループ（タイプ）に属し、かつ、ワークフローに設定された権限を持つ場合、送信されます。

⑧ コンテンツ：ワークフローを適用するコンテンツの対象カテゴリを指定します。

コンテンツクラス <input checked="" type="checkbox"/> -すべて- <input type="checkbox"/> ページ	コンテンツバージョン <input checked="" type="checkbox"/> -すべて- <input type="checkbox"/> Danish
コンテンツグループ <input checked="" type="checkbox"/> -すべて- <input type="checkbox"/> About Us [content]	コンテンツタイプ <input checked="" type="checkbox"/> -すべて- <input type="checkbox"/> Events [content]

グループ／タイプ名の後ろに付いている[content]、[image]、[file]は、それぞれコンテンツグループ名、イメージグループ名、ファイルグループ名であることを示しています。

8. ワークフローに関するその他の機能

8.1. ワンフルワークフローのインポート

「ワークフロー」のサンプルモジュールが用意されていますので、ご希望の場合は、インポートして参照用に使用したり、このサンプルをベースにワークフローを構築したりすることができます。

- ① 「設定」>「システム」>「データベース」にて「追加モジュール」タブを表示すると、3種類のサンプルワークフローがありますので、好きなモジュールを選択します。



- ② 必要に応じて、ワークフロー名、更新ユーザグループ名/タイプ名、公開ユーザグループ名/タイプ名、ワークフロー状態名を変更し、「追加モジュールのインポート」をクリックしてインポートを開始します。

Professional Add-On - Basic Workflow

Basic editor - publisher workflow for website editors to add and update content and keep it private until they request website publishers to approve and publish the content.

The User Database, User Categories, Administrator Access Restrictions and Publishing features should also be enabled to use this workflow.

Workflow name:

Website editor user group:

Website editor user type:

Website editor workflow state:

Website publisher user group:

Website publisher user type:

Website publisher workflow state:

- ③ インポートが完了すると、左メニュー「ワークフロー」の配下に、追加したワークフロー名が表示され、選択すると、アクション一覧とフローがご確認いただけます。これをベースに、ご自身の要件に沿うようアクションの追加や編集をしていただけます。



ワークフロー名	アクション	状態 (～から)	状態 (～へ)	詳細表示	更新	削除
Basic	Approve and publish	Pending				
Basic	Keep private		Private			
Basic	Reject publishing	Pending	Private			
Basic	Request approval and publishing		Pending			
Basic	Request approval and publishing	Private	Pending			

ユーザーグループ	ユーザータイプ	開始	Private	Pending	終了
Website Editor	- すべて -	Keep private	==>		
Website Editor	- すべて -	Request approval and publishing		==>	
Website Editor	- すべて -	Request approval and publishing			*
Website Publisher	- すべて -		<==		Reject publishing
Website Publisher	- すべて -			==>	

8.2. あなたのワークフローアイテム

「ワークスペース」セクションの「あなたのワークフローアイテム」に、ログイン中のユーザと関連性のあるコンテンツが一覧として表示されます。

あなたのワークフローアイテム

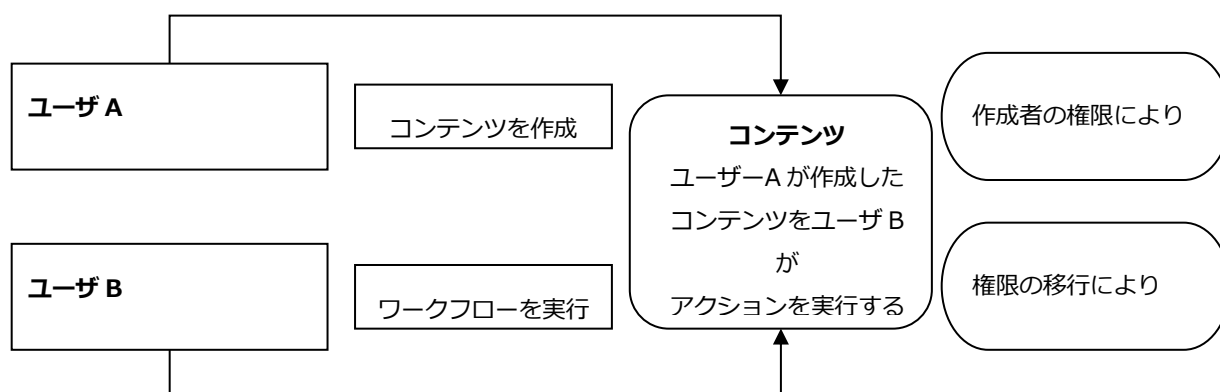
	クラス	グループ	タイプ	バージョン	デバイス	コンテンツ	ID	プレビュー	ステータス
<input type="checkbox"/>	page	Agroun				人材採用のお知らせ	648		承認待ち - 新編: 2018-10-12 17:06:05

表示されるコンテンツは、以下の条件に依存します。

- (1) ログインしたユーザが管理者グループ（タイプ）権限を持っている場合
- (2) ログインしたユーザがアサインされたワークフローの権限を持っている場合
- (3) ログインしたユーザがそのコンテンツの作成者である場合
- (4) ログインしたユーザがそのコンテンツの最終更新者である場合

コンテンツに関連性が無くなると表示されなくなります。ワークフローのアクションを実行したことで、権限が次のユーザに変更された場合や該当していた条件に適合しなくなった場合、「あなたのワークフローアイテム」からは非表示となります。

ユーザに対して関連性があるかないかの判断はユーザとコンテンツの権限で判断されます。



例えばユーザAがコンテンツを作成した場合、作成者の権限を持つことになるのであなたのワークフローアイテムに表示されますが、同じ権限を持つユーザBでは作成者の権限はありませんのでそのコンテンツに対してアクションを実行したとしても次のユーザへ権限が移行するとあなたのワークフローアイテムにコンテンツが表示されることはありません。

ユーザAに関しては作成者の権限がありますのであなたのワークフローアイテムにコンテンツが表示されます。

8.3. コンテンツ一覧からのワークフロー実行

ログインしたユーザがアクセス権限のあるコンテンツグループに移動して、コンテンツ一覧からワークフローを実行することも可能です。



- ① ワークフローを実行したいコンテンツを、チェックボックスで選択します。
- ② 「移動」ボタンを展開すると、ログイン中のユーザが、選択したコンテンツに対して現在実行可能なアクションが、ワークフロー選択プルダウンに表示されます。実行したいアクションを選択します。
- ③ 「移動」リンクをクリックすると、ワークフローのアクションが実行されます。

コンテンツを複数選択した場合、選択したコンテンツ全てに対して実行権限のあるアクションのみ表示されます。

9. 注意事項

複数のワークフローを作成し運用する場合は、下記の設定項目は同じ名前で重複しないように作成してください。

- ・ワークフロー名
- ・アクション
- ・状態（～から）
- ・状態（～へ）

ワークフロー	
ワークフロー名	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
アクション	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
状態（～から）	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
状態（～へ）	
<input type="text"/>	<input type="text"/>

以 上